



かわすい

日本水環境学会関西支部ニュースレター

No.17

(2013年8月21日発行)

—編集・発行—

日本水環境学会関西支部

—連絡先—

〒577-8502 東大阪市小若江3-4-1

近畿大学薬学部 川崎直人

E-mail : kawasaki@phar.kindai.ac.jp

Tel : 06-4307-4012 Fax : 06-6721-2505

支部長挨拶

第29～30期関西支部長 駒井 幸雄
(大阪工業大学工学部)

(公社)日本水環境学会関西支部会員の皆様には、日頃関西支部活動についてご支援を賜り感謝いたします。この度、私は池道彦前支部長の後を引き継ぎ、第29～30期の関西支部支部長として米田稔副支部長、長谷川進副支部長、八木正博副支部長、川崎直人幹事長とともに新体制を組み、これから2年間の支部活動に臨むことになりましたので、ご挨拶を申し上げます。

皆さまもご存じのとおり、関西支部は大学等、地方自治体の環境や衛生関係の試験研究機関等、および民間という3分野の会員がバランスよく構成され、支部長については、大学関係と地方環境研の会員が交互に担うという慣例がありました。しかし、地方環境研等に所属する会員の高齢化が進む一方で、地方自治体の人員削減の影響をもろに受け、地方環境研等の会員が年々減少するという厳しい状況を反映して、大学関係の支部長が3代連続して続きました。そのため、私は第23～24期の古武家善成元支部長以来7年ぶりの地方環境研出身の支部長ということになり、改めてその責任の重さを感じているところです。

関西支部は、水環境学会7支部の中では関東支部に次いで二番目に大きい支部ですが、そのactivityはきっと一番ではないかとひそかに自負しているところです。この3月には東日本大震災の被害を受けた東北支部に代って、当初予定より1年早く第47回日本水環境学会年会を大阪工業大学で開催しましたが、皆様のご協力の元に成功裏に終わらせることができました。支部幹事会は、年会実行委員会に中核メンバーとして参画しましたが、年会運営に加えていくつものユニークな支部主体の企画を立案し、見学会や懇親会を含めてさすが関西という印象を全国の会員に知らせることができたのではないでしょうか。この中で特筆すべきは、若手幹事を中心に企画されたセミナーと、川部会が企画し支部のシニアメンバーがコーディネートした関西支部企画セッションであり、関西支部の若手メンバーとベテランはそれぞれに大いに力を發揮し、年会を大きく盛り立てたと思います。

今期の支部活動では、これまでの部会活動を見直して部会活動の活性化を図るべく7部会から川部会、化学物質部会、環境モニタリング情報部会の3部会体制といたしました。この3部会活動と従来からの見学会、講演会、支部表彰などに加えて、第47回年会で実施したセミナーを第29～30期の支部活動の柱にしたいと考えています。具体的な内容は現在検討を進めているところですが、会員の皆様が水環境に関わる実用的な知識と技術を取得でき、多くの方に有用な情報を普及できる場になればと期待しています。

また、支部表彰については、3賞のうち関西水環境賞と奨励賞の受賞対象範囲を、これまでの「水環境研究、水環境技術の開発」に加えて「水環境の保全・創造に係る実務」に関して貢献された方を含めるように大きく広げました。社会・文化賞とともに、皆様からの積極的な推薦を期待しています。

この他、2014年度の第17回水環境学会シンポジウムについては、2010年度に京都大学で開催された第13回水環境学会シンポジウムから4年ぶりに関西支部が担当することになりました。開催場所については早急に決定すべく調整を進めているところであり、決まり次第皆様にご報告させて頂きます。シンポジウムは研究委員会主体であり、年会に比べて規模も小さいとはいえ、3月の年会から1年半足らずの短い期間をおいての開催となります。関西支部会員の皆様には何かとご苦労、お世話をかけすることになりますが、何卒皆様の知恵と力をお貸しいただいて、年会とは一味違った関西支部でのシンポジウムとしていくことができればと思っています。

何かについて行き届かないこともあるとは思いますが、新執行部一同、皆様の温かいご指導とご協力のもと、関西支部活動を一段と押し上げるべく努力したいと存じます。どうぞよろしくお願ひいたします。

部会紹介

支部の部会はこれまで7部会でしたが、部会活動の活性化を図るべく今年度から川部会、化学物質部会、環境モニタリング情報部会の3部会体制としました。各部会の活動内容を以下に記します。

川部会

川部会は、水環境を単なる数値としてではなく実際に川を観察し総合的に把握してその機能を評価するために、川のウォッチングと評価手法の検討を柱に村岡浩爾元部会長のもとで2001年6月に活動を始めて12年になります。この間、貝塚市の近木川を最初に2013年5月の寝屋川北部地下河川まで56の河川（韓国、台湾の川を含む）をウォッチしました。

この活動で、川は各地域の人々との間に多様な関わりと歴史を持っていることを知りました。川は水質だけではなく人との関わりを含む水環境として評価することの重要性を再認識しました。

ウォッチングの結果は月刊「環境技術」誌に2004年4月～2006年1月、2007年4月～2009年6月まで「関西の川歩き」として連載されました。さらに、2012年9月から「環境技術」誌に続関西の川歩きを隔月連載しています。また、リーフレット「琵琶湖・淀川 里の川をめぐる～ちょっと大人の散策ブック～」を(公財)琵琶湖・淀川水質保全機構と(一社)近畿建設協会との共同企画で発行しています。5編にわけて随時発行の予定で、昨年度には、No.8「名張川」編、No.9「猪名川」編、No.10「琵琶湖疏水」編、No.11「中河内の川」編、No.12「赤野井湾」編を発行しました。学会発表でも2013年3月の第47回日本水環境学会年会研究発表会にて関西支部企画セッション「文理融合の総合的視点で川を考える」を担当して、発表も行うなど積極的に参加しています。

発足以来部会長を務められた村岡浩爾氏の後を引き継ぎ、土永恒弥氏が部会長をした後、2010年8月から福永勲氏が部会長、古武家善成氏が事務局長として活動をしています。皆様の御参加と御意見お待ちしております。

【連絡先】部会長 福永 勲（元大阪人間科学大学、元大阪市立環境科学研究所）E-mail : EZX00202@nifty.ne.jp
事務局長 古武家善成（神戸学院大学） E-mail : dfmfn512@kcc.zaq.ne.jp
担当支部幹事 駒井 幸雄（大阪工業大学） E-mail : komai@env.oit.ac.jp

化学物質部会

化学物質部会は、水環境中の化学物質を主な対象としたセミナーや講演会を行っております。最近では有機フッ素化合物、PPCPs、難燃剤、農薬等の微量有機物質の分析方法、それらの水環境中における挙動、重金属汚染の実態や汚染の歴史トレンド、そしてリスク評価の手法に関する内容を取り上げてきました。また、第47回年会においては『そこが知りたい！水環境研究の基礎技術講座』と題し、ラジカル、放射線、超純水、固相抽出、pH、フミン物質などに関するセミナーを開催しました。今後も社会的注目を集める物質に関する講演会・セミナーを企画していく所存です。

【連絡先】部会長 小泉義彦（大阪府立公衆衛生研究所） E-mail : koizumi@iph.pref.osaka.jp

環境モニタリング情報部会

環境モニタリング情報部会は関西地区の大学、企業、地方環境研究所等に所属し、環境モニタリングに携わる、または興味を持っているメンバーから構成されています。

この特性を活かしてこれまで、関西圏における河川水質についての窒素、りん、COD等について長期モニタリング情報の解析を行い、水環境学会年会で発表する等の当部会ならではの地元密着型の情報発信を行ってきました。しかしながら最近では厳しい財政事情下でこのような解析を行う基礎となる環境モニタリングの整理・統廃合が進み、モニタリングデータの質と量に関する維持が大きな課題となっています。

当部会では最近の環境モニタリングを取り巻くこのような厳しい状況を考慮し、参加機関間の情報交換および議論から今後の環境モニタリングについて考えていく予定です。

【連絡先】部会長 宮崎 一 ((公財)ひょうご環境創造協会 兵庫県環境研究センター)
E-mail : miyazaki-h@hies-hyogo.jp

第8回 日本水環境学会関西支部 関西水環境賞、奨励賞、社会・文化賞 推薦のお願い

(公社)日本水環境学会関西支部では、下記の賞を設け、水環境に関する優れた成果や貢献、活動等を表彰します。適切な候補者・団体等をご推薦ください。

●関西水環境賞

水環境研究、水環境技術の開発、あるいは水環境の保全・創造に係る実務に関して、優れた成果や顕著な貢献をなしたと認められる支部個人正会員、または団体正会員およびこれに所属する個人に授与。

●奨励賞

水環境研究、水環境技術の開発、あるいは水環境の保全・創造に係る実務に関して、独創的・特徴的な成果や貢献を有し、将来を期待される当該年度4月1日の時点で40歳未満の支部個人正会員、または団体正会員に所属する個人に授与。

●社会・文化賞

関西地域で水環境の保全・創造に関する社会・文化活動が顕著な団体または個人に授与。

なお、応募方法、応募書類や提出先等は関西支部ホームページ (<http://www.jswe-kansai.com/>) に掲載しています。締切は2013年9月13日(必着)です。

2013年度 関西支部見学会のお知らせ

五感で琵琶湖を感じよう！

～滋賀県野洲市の琵琶湖と川をめぐるツアー、湖魚料理付き～

昨年度、(公社)日本水環境学会関西支部 社会・文化賞を受賞されました「特定非営利活動法人 家棟川流域観光船」のご協力を頂き、下記の通り実施しますので、ふるってご参加ください。

【主 催】 (公社)日本水環境学会 関西支部

【期 日】 2013年9月21日(土) 10:30～16:00 (予定)

雨天決行 (但し、午前7時現在、野洲市に気象警報が発令されている場合は中止。)

【行 程】

10:30 JR野洲駅集合
10:30～11:00 移動
11:00～12:00 ①家棟川流域観光船 乗船 (平成24年度社会・文化賞受賞団体)
12:00～13:30 ②昼食 (湖魚料理+琵琶湖漁師の話)
13:30～14:30 ③琵琶湖岸のヨシ植栽地見学
14:30～15:30 ④魚のゆりかご水田 (魚がのぼる環境配慮水田) 見学
15:30～16:00 移動
16:00 JR野洲駅解散

【定 員】 先着20名

【参加費】 無 料

【申し込み・問い合わせ先】 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター 総合解析部門 佐藤祐一
TEL: 077-526-4044 E-mail: sato-y@lberi.jp

第29期 総会・パネルディスカッション・表彰式・講演会・懇親会のお知らせ

【主 催】(公社)日本水環境学会 関西支部

【期 日】2013年12月13日(金)13:00~17:45(懇親会 18:00~20:00)

【場 所】(学)常翔学園大阪センター(大阪市北区梅田3-4-5 毎日インテシオ 3F)

- 【プログラム(予定)】
(1) 13:00~15:00 パネルディスカッション
「里川・里山を語る
自然との共生? 自然からの収奪?」
(2) 15:15~16:00 日本水環境学会 関西支部総会・表彰式
(3) 16:00~17:45 関西水環境賞、奨励賞、社会・文化賞受賞者講演
(4) 18:00~20:00 懇親会

【参加費】パネルディスカッション・総会・表彰式・講演会:無料
懇親会:5,000円

【申込方法】氏名、所属、住所、電話/FAX番号、E-mailアドレス、懇親会参加の有無をご記入の上、11月29日(金)までに、下記宛E-mailでお申し込みください。E-mailの件名は「関西支部総会」としてください。申し込み後3日経過しても受け取り確認のメールが届かない場合は、下記申し込み先へお問い合わせください。

【申し込み・問い合わせ先】近畿大学薬学部医療薬学科 川崎直人
TEL:06-4307-4012 E-mail:kawasaki@phar.kindai.ac.jp

2013年度 関西支部役員名簿

顧問	間 奥野 年秀 元兵庫県立公害研究所 中室 克彦 摂南大学 森澤 真輔 京都大学	寺島 泰 京都大学名誉教授 村岡 浩爾 大阪大学名誉教授	福永 熱 元大阪市立環境科学研究所 山田 淳 立命館大学
名誉理事	海老瀬潜一 摂南大学 園 欣彌 兵庫県立工業技術センター 藤田 正憲 大阪大学名誉教授 山田 春美 元京都大学	國松 孝男 滋賀県立大学名誉教授 土 永恒彌 元大阪市立環境科学研究所 松井 三郎 京都大学名誉教授 芳倉 太郎 元大阪市立環境科学研究所	宗宮 功 京都大学名誉教授 中本 雅雄 NPO大阪環境カウンセラー協会 和田 安彦 関西大学
支部長・理事	駒井 幸雄 大阪工業大学	長谷川 進 株式会社ソリューション	八木 正博 神戸市環境保健研究所
副支部長・理事	米田 稔 京都大学	関本 達之 京都府保健環境研究所 石川 宗孝 大阪工業大学 古武家善成 神戸学院大学 高原 信幸 元神戸市環境保健研究所 内藤 正明 滋賀県琵琶湖環境科学研究所 服部 幸和 元大阪府環境農林水産総合研究所 藤井 滋穂 京都大学	飯田 博 株式会社分析センター 大久保卓也 滋賀県琵琶湖環境科学研究所 笠 文彦 龍谷大学 田口 寛 日本メンテナンスエンジニアリング㈱ 中島 淳 立命館大学 平田 健正 和歌山大学
幹事長	川崎 直人 近畿大学		
幹事	浅野 昌弘 龍谷大学 遠藤 徹 大阪市立大学 笠原 伸介 大阪工業大学 北本 寛明 兵庫県立健康生活科学研究所 斎藤 方正 大阪広域水道企業団 島田 洋子 京都大学 田中 周平 京都大学 広谷 博史 大阪教育大学 船石 圭介 アタカ大機㈱	市木 敦之 立命館大学 緒方 文彦 近畿大学 門口 敏子 勝利環境管理技術センター 小泉 義彦 大阪府立公衆衛生研究所 櫻井 伸治 大阪府立大学 新矢 将尚 大阪市立環境科学研究所 濱崎 竜英 大阪産業大学 藤井 俊樹 勝利環境創造協会 宮崎 一 勝利環境創造協会	入江 政安 大阪大学 奥野 智史 摂南大学 蒲 敏幸 京都府保健環境研究所 後藤 敦子 尼崎市立衛生研究所 佐藤 祐一 滋賀県琵琶湖環境科学研究所 高浪 龍平 大阪産業大学 肥田 嘉文 滋賀県立大学 藤原 康博 大阪市立環境科学研究所 和田 桂子 勝利環境創造協会